

第49期（2023年4月期）第3四半期
決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2023年3月14日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト

《トピックス》

➤増収 ※売上高は第3四半期累計で過去最高

- 売上高 353億円
- 中国のECによる販売が、6.18、11.11（ダブルイレブン）などのイベントを中心に好調を維持

➤減益

- 営業利益 57億円、経常利益 54億円、純利益 35億円
- 新カテゴリーの認知度を上げるための広告宣伝に重点的に投資を行った
- 11月から1月にかけての急激な円高により、保有する外貨建資産の換算替えに伴う為替差損益が一気に差損方向に動いたため、上半期に計上した差益がほぼ解消することとなった

(百万円)

回次	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	第49期 第3四半期 2022年5月1日 ～ 2023年1月31日	【ご参考】 第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
売上高	28,507	31,683	35,389	40,943
営業利益	5,443	6,007	5,711	6,880
営業利益率 (%)	19.1	19.0	16.1	16.8
経常利益	5,279	6,267	5,452	8,063
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,101	4,264	3,574	5,586
1株当たり 当期純利益 (円)	56.37	77.51	64.96	101.54

セグメント情報

《トピックス》

▶ 海外部門は引き続き好調

- 中国国内のECによる販売が、6.18、11.11（ダブルイレブン）などのイベントを中心に好調に推移
- 継続的な広告宣伝活動により高級ブランドのイメージが定着
- 現地で好まれる製品の開発が奏功

▶ 国内各販路は総じて伸び悩み

- 通販部門は比較的堅調に推移
- 店販部門、直販部門は今期重点的に拡販を狙ったヘアケア・シェーバーのカテゴリで苦戦し、売上を伸ばしきれず

売上高

(百万円)

回次	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	第49期 第3四半期 2022年5月1日 ～ 2023年1月31日	【ご参考】 第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
通販部門	3,842	3,983	5,604	5,202
店販部門	5,653	6,743	6,328	8,398
直販部門	9,532	8,828	8,045	11,566
海外部門	8,534	11,147	15,360	14,522
その他	944	979	50	1,253
合計	28,507	31,683	35,389	40,943

営業利益

(百万円)

回次	第47期 第3四半期 2020年5月1日 ～ 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2021年5月1日 ～ 2022年1月31日	第49期 第3四半期 2022年5月1日 ～ 2023年1月31日	【ご参考】 第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
通販部門	1,606	1,673	2,021	2,132
店販部門	1,635	2,104	1,584	2,508
直販部門	4,565	4,487	3,893	5,844
海外部門	2,583	3,762	6,067	4,385
その他	32	427	29	499
調整額 (※)	△4,980	△6,447	△7,884	△8,489
合計	5,443	6,007	5,711	6,880

(※) 調整額は開発部門・管理部門等の全社に共通する費用です。

財務ハイライト

《トピックス》

➤ 棚卸資産が増加

- 主力製品の生産体制を受注生産から計画生産へ移行したことから、在庫は増加

➤ ROA 11.7

➤ ROE 15.2

(百万円)

	第47期 第3四半期 2021年1月31日	第48期 第3四半期 2022年1月31日	第49期 第3四半期 2023年1月31日	【ご参考】 第48期 2022年4月30日
総資産	24,724	28,592	30,471	30,552
純資産	16,264	20,720	25,089	22,093
自己資本比率 (%)	65.8	72.5	82.3	72.3
現預金	10,838	13,416	16,172	16,649
売上債権	5,156	5,443	4,174	5,194
棚卸資産	3,807	5,076	5,803	4,118
仕入債務	2,693	2,385	1,117	1,870
有利子負債	2,617	2,128	1,509	1,970

第4四半期以降の取り組み

▶ 中期投資計画に基づき、各種投資を実行

不安定な世界情勢の中、お客様の消費行動の変化や昨今の為替相場の急激な変動など、非常に予想が難しい経営環境ではありますが、当社といたしましては、改めて中長期的な成長戦略の見直しを図るとともに、新たな中期経営計画の策定を行ってまいり所存です。

また、このような状況であるからこそ、将来の業績拡大に向けた投資はしっかりと実行していきたいと考えており、特に新カテゴリであるヘアケア・シェーバーへの広告宣伝、更なる新カテゴリ創出に向けた技術開発、グローバル展開強化のための各種認証取得への対応については、積極的に投資を続けてまいります。

■ 中期投資計画

https://www.ya-man.co.jp/wp/wp-content/uploads/investment_plan_20220614.pdf



■ヘアケア

<https://www.ya-man-tokyo-japan.com/products/hair.html>

■シェーバー（HOT SHAVE）

<https://www.ya-man-tokyo-japan.com/special/shaver/rfshaver2022/>

業績予想

➤2023年3月14日付で通期予想を修正

当第3四半期連結累計期間は、上半期における中国国内向けの販売が好調であったことなどから、過去最高の売上高となりました。

しかしながら、世界的なインフレ圧力の上昇を背景とした消費財の値上がりが続く中、高価格帯製品の需要の低迷が見られ始めたこと、人流の活発化に伴ってお客様の消費行動がモノ消費からコト消費へとシフトしていること、中国のゼロコロナ政策の大幅緩和の影響により中国国内販売の拡大がペースダウンしたことなどによって、計画を下回る見込みとなりました。

また、利益面においても、新カテゴリ（ヘアケア・シェーバー等）及びリピート商材への中期的な売上拡大に対する投資が先行したことや、急激な為替変動の影響を受けて、想定を下回る結果となりました。

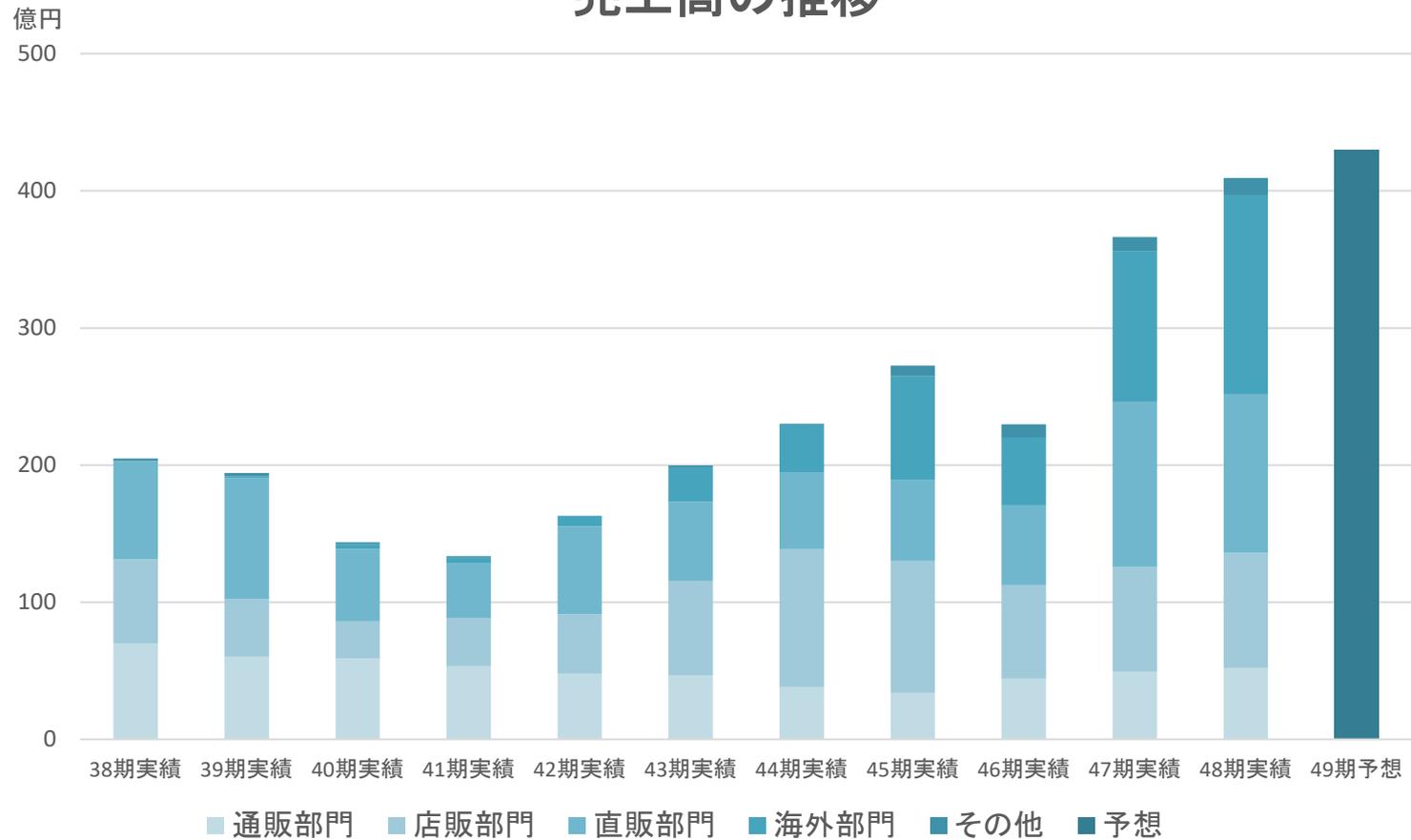
特に為替相場の変動については、11月から1月にかけての急激な円高ドル安によって保有する外貨建資産の換算差損益が一気に差損方向に振れたため、上半期に計上した為替差益がほぼ解消されたことから、経常利益以下に大きな影響を与えました。

市場の状況についても、国内外問わず不明確・不安定な要因が多く、経済回復の重しとなっております。

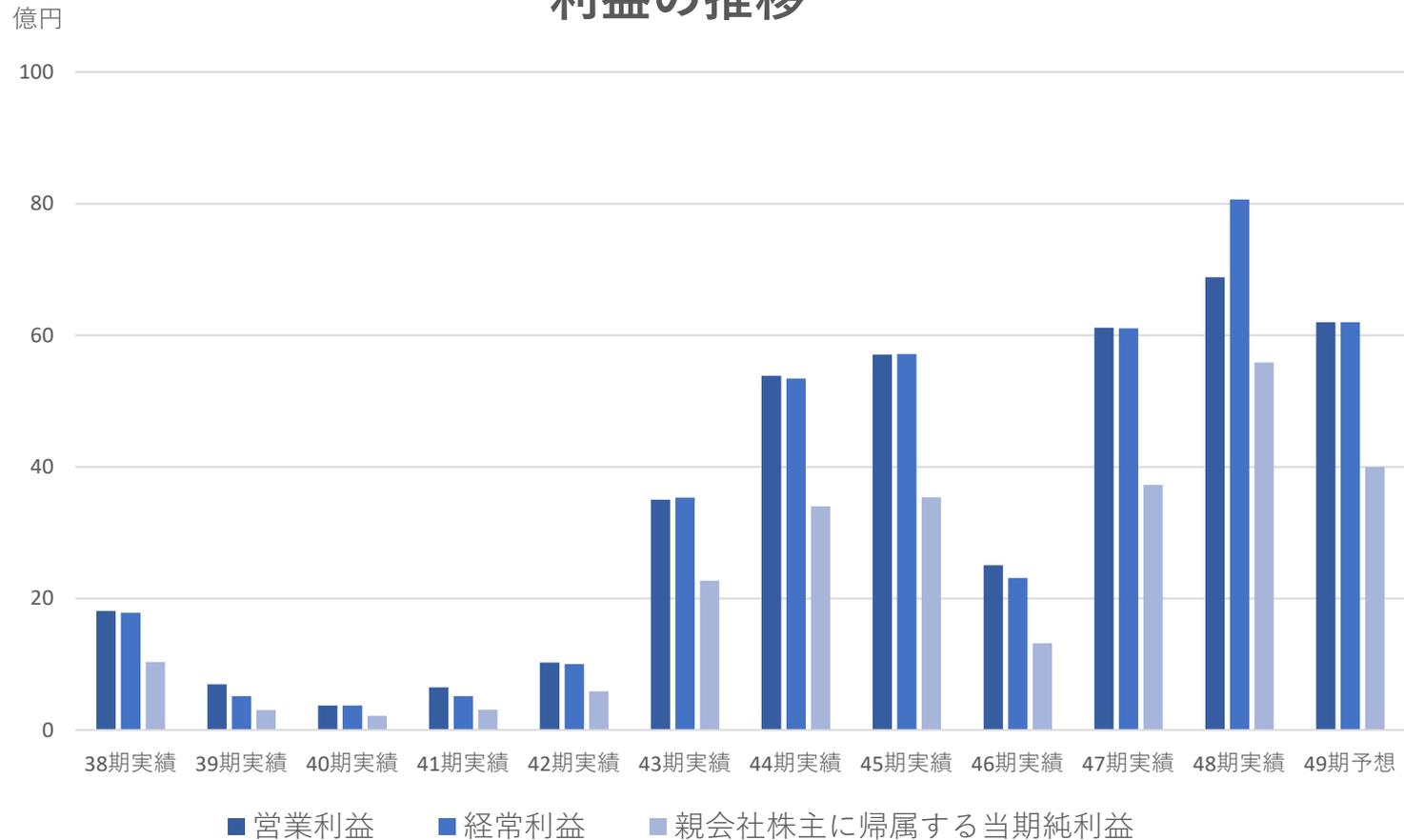
このような状況をふまえ、今回、通期の業績予想の修正を行うことといたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 50,000	百万円 10,000	百万円 9,600	百万円 6,652	円 銭 120.90
今回修正予想 (B)	43,000	6,200	6,200	4,000	72.70
増減額 (B - A)	△7,000	△3,800	△3,400	△2,652	—
増減率 (%)	△14.0	△38.0	△35.4	△39.9	—
(ご参考) 前期実績 (2022年4月期)	40,943	6,880	8,063	5,586	101.54

売上高の推移



利益の推移



配当政策

➤ 今期は普通配当をさらに底上げ

普通配当：中間4.25円＋期末4.25円

長年、中間1.80円＋期末1.80円の普通配当を維持してまいりましたが、前期は中間2.0円＋期末2.0円とし、当期はさらに底上げして中間4.25円＋期末4.25円としております。

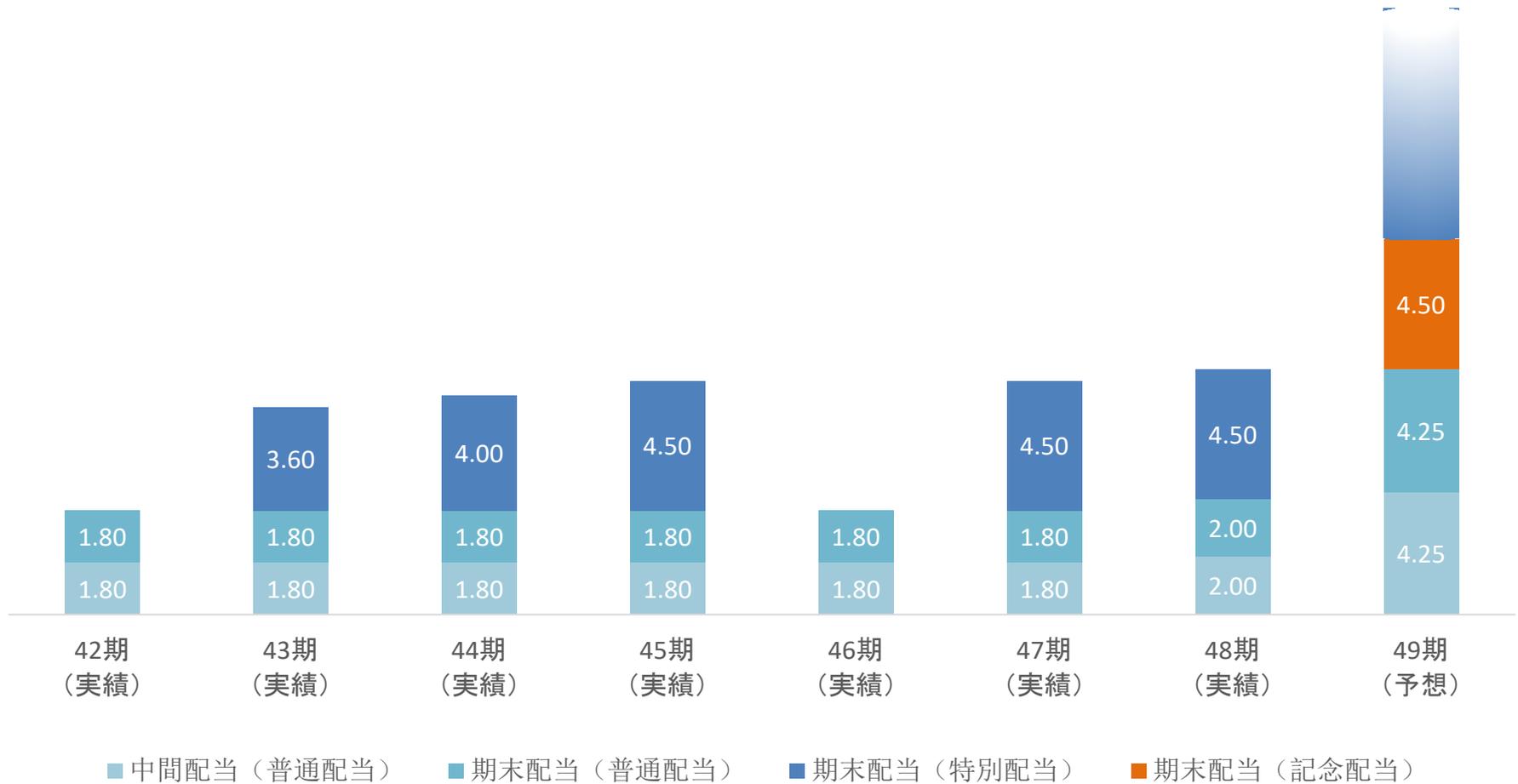
➤ 記念配当

記念配当：期末4.50円

当社は、2023年5月に設立45周年を迎えることから、記念配当として期末配当に4.50円を上乗せいたします。

➤ 通期の金額決定方針は維持

当社はこれまで、通期の業績等を勘案して最終的な配当金額を決定してまいりましたが、当期においてもこの方針は維持いたします。



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。